

消化器内科

【概要】

当院は沖縄南部地域の中核病院であり、消化器科としての実績に富み、周囲の医療機関からの信頼も厚く、難症例のコンサルトも多い。

平成 28 年度の実績として、上部消化管内視鏡件数 3,106 件、早期胃癌の ESD 11 件、早期食道癌の ESD 4 件、下部消化管内視鏡件数 2,771 件、早期大腸癌の ESD 26 件、大腸ポリペクトミー 608 件、処置系 ERCP 334 件、RFA 7 件、付属の健診センターでの上部消化管内視鏡件数 13,483 件、下部消化管内視鏡件数 772 件など症例数に恵まれており、いろいろな症例を経験することができる。

【研修内容と特徴】

- ・消化管、肝胆膵疾患を有する入院患者の主治医として受けもつ。
- ・週に 2 回初診外来、時間外当番を担当し、内科及び消化器疾患の外来治療を経験する。
- ・シミュレーション教育を取り入れ、上部および下部消化管内視鏡検査は 6 ヶ月を目標に修得する。
- ・日本消化器病学会支部例会等に症例報告、臨床研究の成果を発表する。
- ・3 年間のシニア研修中に南部病院(豊見城中央病院の関連病院)の緩和ケア病棟で緩和ケアを学ぶことが可能。

【目標】

【一般目標】

日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会等の専門医を取得することを目標として消化器病学の臨床、すなわち消化器病の検査、診断、治療等に関して専門的知識、技能を修得する。

【行動目標】

消化器病に関する諸検査法、その意義を理解し、実施する。

画像検査の正常および病的所見を理解し、腹部超音波検査は実技を行う。

超音波ガイド下穿刺による検査および治療が行える。

上部、下部内視鏡検査および内視鏡的治療が行える。

内視鏡による胆膵検査および治療の適応、検査所見を理解し、実技を習得する。

消化器癌に対する治療法の選択、適応が判断でき、実施できる。

消化器病に関する症例報告、臨床研究を行う。

【研修修了後の進路】

院内基準を満たせば、当院の消化器内科のスタッフとして勤務し、各専門医を取得することができる。

【特記事項】

【過去 5 年間での赴任先】

愛知県がんセンター、名古屋市立大学付属病院、琉球大学付属病院、春日井市民病院など

【消化器内科部長メッセージ】

当院での研修後に全国の各 High volume センターへ勤務される先生も多いです。High volume センターは技術を修得する場ではなく、技術を磨く場所です。当院は後期研修の間に一般消化器内科として急性期疾患、がん、炎症性腸疾患、肝疾患など豊富な症例を経験でき、上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡、ERCP、EUS と基本検査を十分量経験できる検査数があります。医局に属している先生も属していない先生も一般消化器内科としてのベースを当院でつくりませんか？研修後の進路にも十分答えることができるパイプもあります。

少々忙しいですが、空港から車で 15 分の抜群のアクセス、OFF には車で 15 分、きれいなビーチにも行ける環境でわれわれと働いてみませんか？

【お問い合わせ】

社会医療法人 友愛会

豊見城中央病院

臨床研修支援室 担当：川平

TEL:098-850-3811 FAX:098-850-3810
